

改訂されました!!

『ヘイトスピーチ、許さない。』

(令和3年8月改訂 法務省発行ポスター・リーフレット)

ヘイトスピーチとは? ... 特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動のこと。

改訂の背景は?

「ヘイトスピーチ解消法」の施行から約5年が経過したものの、ヘイトスピーチは依然として続いている。

改訂の目的は?

ヘイトスピーチの解消に向けた更なる啓発のため。

改訂のポイントは? (法務省の取組について)

- ① より効果的な人権啓発活動の取組を推進するSNSやインターネットの利用
- ② インターネットによる被害者からの相談受付も開始

各学校においては、本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向け、ポスター・リーフレットを活用した校内研修等を実施してはいかがでしょうか。

「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」 (平成28年6月3日公布、施行)

いわゆる「ヘイトスピーチ解消法」のポイントは?

- ①前文で、本邦外出身者やその子孫を地域社会から排除することを扇動する不当な差別的言動は許されないこと、解消に向けた取組を推進することを宣言した。
- ②第6条で、『本邦外出身者に対する不当な差別的言動を解消するための教育活動を実施するとともに、そのために必要な取組を行う』と規定した。
- ③附帯決議で、インターネットを通じて行われる不当な差別的言動を助長・誘発する行為の解消に向けた取組の実施を求めた。

福岡県の人権教育・啓発の基本理念が目指す社会は、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人等に対して偏見や差別のない「多様性」が尊重される社会です。

このような社会の実現には、全ての教職員の人権尊重の理念の理解・体得や指導力の向上を図る研修の充実が求められます。

その研修の際のポイントとして福岡県人権教育・啓発基本指針では

- 1 教職員が人権問題を自分自身の課題としてとらえること
- 2 教職員の日常の実践行動につなぐことができるようにすること

が挙げられています。この2つのポイントを踏まえた研修内容とするために人権教育DVDを使った研修会を御提案します。

「外国人の人権」や「多様性の尊重」をテーマにしたおすすめ作品



制作: 東映株式会社 (平成27年)
企画: 東京都教育委員会

「わっかカフェへようこそ ~ココロまじわるヨリドコロ~」【35分】

この作品に登場する町の路地にたたずむ小さなカフェ「わっかカフェ」は、多様な人が訪れ、人権問題に向き合いながら心を通わせていく場となっています。内容は「インターネットによる人権侵害」「高齢者の人権」「外国人の人権」の3つのストーリーで構成されています。

このDVDからは、人権を自分の問題、日常の問題としてとらえることができます。また、日常生活や学級での指導の際に人権を尊重した関わり方のヒントを得ることができる内容になっています。(感想①)



制作: 東映株式会社 (令和元年)
企画: 兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会
企画協会: 兵庫県教育委員会

「サラーマット~あなたの言葉で~」【36分】

この作品は、主人公が新しく職場に来たフィリピン人のミランダとの対立や交流を通して、「違い」についての新たな視点に気づき、多文化共生の視点で豊かな人間関係を築いていくという内容です。

このDVDからは、多様な人との出会いで感じる様々な「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ互いに高め合っていく「豊かさ」であることが伝わってきます。多文化共生社会の実現を目指すために、私たちはどうしたらよいか考えることができる作品となっています。(感想②)

人権教育DVDを校内研修で活用した教職員の感想

- ① 映像を通して自分の生活と重ねながら具体的な場面で人権問題を考えることができました。視聴時間も長すぎず、集中できました。
- ② 主人公をはじめ、その周囲の人々の思いに共感しながら視聴できました。身近な人権問題であっても、実際に関わることが少ないのでDVDを使った研修は、よい学びの機会になりました。

DVDの貸出やDVDを使った研修の要請等、お気軽にお問合せください。

I note....



発行 京築教育事務所人権・同和教育室

はじめに 誰一人として取り残さないために

2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の前文には、「**誰一人取り残さない**」「**すべての人々の人権を実現する**」と宣言されており、国際社会における普遍的価値としての人権尊重の理念が基盤にあることを示しています。

特に、17の持続可能な開発のための目標の中の「目標4 質の高い教育をみんなに」の達成目標として、「男女の区別なく」「ジェンダ格差をなくし」など、一人一人がかけがえない存在として尊重される社会や、偏見や差別のない社会の実現をめざしており、人権教育と深くかかわっています。

また、国連の「人権教育のための世界計画」は、2020年から若者を重点領域とする第4フェーズ(段階)に移行しました。第4フェーズの行動計画には、「近年、青少年のために人権教育は、現在のグローバルな諸課題を防ぎ、取り組むための戦略のひとつであるとの認識がますます高まっている。」と明記されています。

このような社会の要請を踏まえると、学校における人権教育への期待がますます増し、人権教育を通じて子どもたちが**世界の文化の多様性を理解し、お互いを尊重し合う関係を築くべきであることを認識することができる**ようにすれば、様々な人権問題の解決とともに、国際社会の発展につながるのではないのでしょうか。

本号では、下線部のような力を学校の教育活動の中で着実に育んでいくために、少しでもお役に立てる情報を掲載しています。

参考: 人権教育指導者向け学習資料KARAFULL No11

「I note あいのて(28号)」のメニュー

- ◇人権教育のツボ
改訂されました!! 「ヘイトスピーチ、許さない」
- ◇研修コラム
「外国人の人権」や「多様性の尊重」をテーマにしたおすすめ作品
- ◇メインテーマ
外国人の人権問題の解決に向けて
~共生社会を生きる子どもたちのために~



外国人の人権問題の解決に向けて ～共生社会を生きる子どもたちのために～

外国人の人権問題を解決するために、児童生徒に育てたい資質・能力とは？

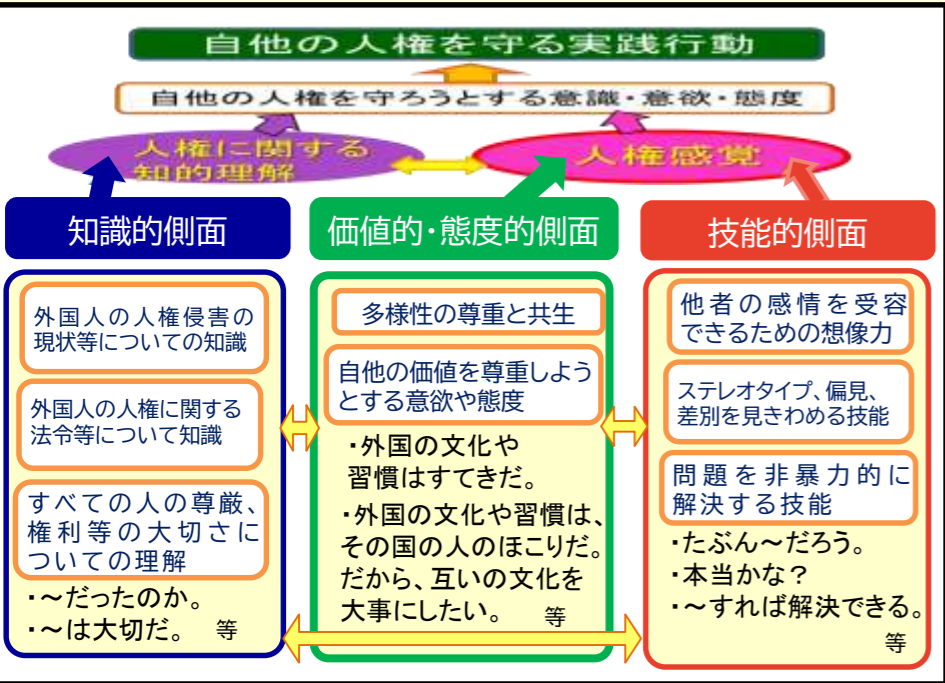
福岡県人権教育・啓発基本指針は、学校においては、特に
ア 異文化を尊重する態度
イ 異なる習慣・文化を持った人々と共に生きていく態度
 を育成することの必要性を示しています。



上記のア・イの資質・能力を、下記の第三次とりまとめが示している、人権教育を通じて育てたい資質・能力と重ねてみます。

ア・イの態度は、人権教育が育成を目指す資質・能力の三つの側面の中の人権感覚「**価値的・態度的側面**」と重なります。

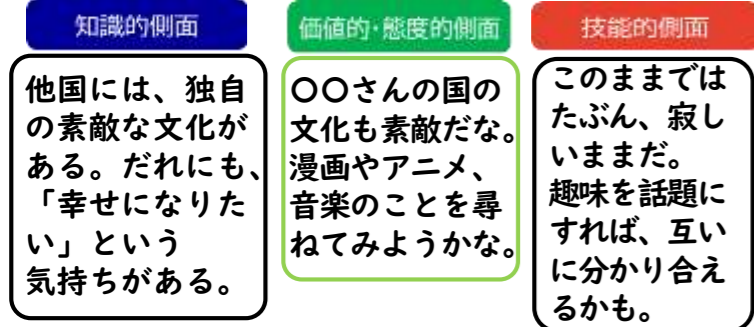
下図のように、外国人の人権問題の解決に役に立つ**知的理解**と**人権感覚（技能的側面）**と併せて育成することで、**外国人の人権問題を解決するための実践行動**へとつながるのです。



児童生徒の目指す姿とは？（例）



外国にルーツをもつ生徒が、自分の学級に転入してきた。休み時間、仲間に入れず、一人で過ごしている姿に気付き、その生徒に声をかけた方が良いと考え、行動に移した子どもの姿から



互いの違いを尊重し、共生するためには、まずは、**（例）のような他者理解**を図ることが大切です。



児童生徒に育成を目指す資質・能力を育むために

教科書を活用して人権に関する知的理解を！

各教科等の教科書には、人権に関する法令や条約、個別の人権課題に関する内容が記述されています。教科書で人権に関する内容を指導する場面で、教師が意図的に働きかけをし、児童生徒の知的理解を図りましょう。

以下は、指導のポイント、社会科の教科書における外国人の人権に関する記述（一部抜粋）と、教師の働きかけ例、児童生徒の反応例を紹介しています。

ア 我が国の歴史的経緯に由来する在日韓国・朝鮮人等に関する偏見や差別意識に関する内容（例）

戦争によって差別意識が醸成されたこと

ポイント

中学校では 中学社会歴史 教育出版 P189
 5 日本の近代化と国際社会 ①朝鮮をめぐる戦い

教科書記述
 日清戦争により東アジアで勢いを強めた日本では、ロシアへの対抗心とともに、中国や朝鮮に対する優越感や**差別意識**も広まりました。

小学校では 小学社会6 教育出版 P190
 9 近代国家を目指して 日露戦争後の日本と世界

教科書記述
 「日露戦争には、（中略）欧米諸国の支配のもとにおかれたアジアには、日本がヨーロッパの大国・ロシアに勝利したことに勇気づけられた人々もいました。その一方で、日本人の間には、朝鮮や中国の人々を**下に見る意識**が広がっていきました。」

教師の働きかけ（例）と児童・生徒の反応（例）

戦争は、自分の国の人々や外国の人々の生命を脅かすだけでなく、外国の人々に対する見方まで変えてしまうんですね。

今までは、政治のしくみや文化を取り入れたりして、日本に大きな影響をもたらす存在だったのに。日清戦争がきっかけで中国や朝鮮に対する優越感や差別意識（下に見る心）が生まれ、広がっていったんだ。※（ ）は【例】

イ 他国の言語・宗教・習慣等への理解に関する内容（例）

違う文化、習慣等を互いに理解しようとする大切さの理解を図ること

ポイント

中学校では 中学社会公民 教育出版 P23
 1 私たちの暮らしと現代社会 ②伝統文化の継承と文化の創造

教科書記述
 世界には多様な文化があり、日本人は宗教と同様に、様々な**外国の文化を積極的に受け入れ**、改良を繰り返しながら独自の文化をつくり上げてきました。

教師の働きかけ（例）と生徒の反応（例）

「日本の文化を大切にすることは、異文化を大切にすることにつながる」とは、どういうことですか。



日本の文化は、様々な外国の文化を積極的に先人が取り入れたからこそできたんだ。だから、異文化を大切にすることにつながると思う。

小学校では 小学社会4 教育出版 P207
 4 国際交流がさかんなまちづくり

「外国から来た人の生活習慣について**わたしたちが知る**ことが大切だね。」
 「外国の人の生活習慣の中には、**自分たちとはちがうところがあることを知る**ことも大切だ。」
 「一人一人が交流を深めながら、**お互いにわかり合っていく**ことが何より大切だね。」

教師の働きかけ（例）と児童の反応（例）

外国から来た人と交流を続けていくために、どんなことが大切でしょうか。



外国から来た人の生活習慣を知ることや違いがあることを知ることです。そして、相手のことを分かろうとすることです。

ウ 外国人の人権に関する条例や取組に関する内容（例）

人権に関する法令等の存在やその意義を理解させること

ポイント

中学校では 中学社会公民 教育出版 P70
 2 個人を尊重する日本国憲法 ①人権侵害のない世界に

教科書記述
 第二次世界大戦中に起こった国家による大規模な人権侵害に直面して、**人権の問題は、国際社会全体で取り組まなければ解決できない**と考えられるようになりました。第二次世界大戦後、国際連合（国連）が最初に採択したのが**世界人権宣言**です。

教師の働きかけ（例）と生徒の反応（例）

国際連合を中心とした人権に関する様々な条約を知り、私たちにどんなことができるでしょう。



同じ地球に生きる人間の一人として、世界で起こっていることに関心を持ち、身の回りの人権問題について考えていきたい。

小学校では 小学社会6 教育出版 P18～19
 1 ともに生きる暮らしと政治 すべての人が幸せに生きるために

教科書記述
 日本国憲法には、すべての国民は健康で文化的な生活を送る権利があると定められています。わたしたちのだれもが、**生命や身体**の自由を大切にされ、**人間らしく生きる権利（基本的人権）**を、生まれたときからもっているのです。

教師の働きかけ（例）と児童の反応（例）

日本では、アイヌの人々、在日外国人、障がいのある人などに対する差別や偏見があります。どんな社会を目指したいですか。



基本的人権の尊重という考え方をもとに、日本に住む外国人はもとより、すべての人が幸せに生きることのできる社会を目指したい。